

発行所

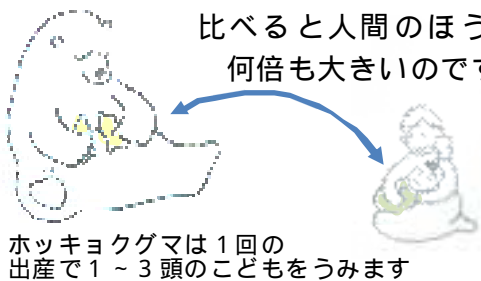
旭川市旭山動物園
動物図書館
☎ 36-1104冬の動物園は4月7日(火)まで
10:30~15:30(入園は15:00まで)

ASAHIYAMA Zoo

08冬、開園

冬の動物園が始まりました。
日に日に寒さが増して、雪が降り、一步一步
冬へと近づいています。
冬はホッキョクグマがとても得意な季節。
プールに飛びこんだり、ボールで遊んだり...。
寒さを忘れさせるほど、元気いっぱいです。

生まれてすぐのホッキョクグマの赤ちゃんはとても小さな体をしています。人間の赤ちゃんはおよそ3000グラムですが、ホッキョクグマの赤ちゃんは600グラムほど。大人のホッキョクグマはあんなに大きいのに、赤ちゃんだけを比べると人間のほうが何倍も大きいのです。



ホッキョクグマは1回の出産で1~3頭のこどもをうみます

「あれ？ルルがいない」ほつきよくくま館では、いつもイワンと一緒にいるメスのルルが11月上旬から、放飼場にていません。ルルは今、産室」という部屋でゆっくりすごしています。

ルルは今年14才、オスのイワンは8才になります。オスは6~7才で性成熟するといわれており、ようやく2頭とも大人になりました。春には交尾が確認されて、この冬、ルル初めての出産が期待されているのです。

ホッキョクグマ
ルル
期待の冬

産室にはカメラを設置し、ルルを刺激しないように遠くから観察します

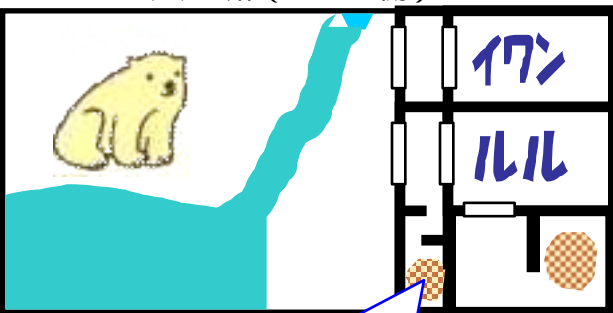


部屋の中の様子は...



外の音が気にさわらないように、防音効果のある壁材でかこったり、おしっこで部屋が汚れないようにぶあついゴムのスポンジをしいたり。

ほつきよくくま館(プール側)



通路

寝室の中でルルが自由に
行き来できる産室が2つ

野生のホッキョクグマは秋から冬にかけて、出産のための巣穴にこもり出産をします。出産の可能性があるルルも、この時期は安心できる静かな落ち着いた部屋です。参考には、産室の環境づくりをし、産室ですぐす時期などを決めました。

旭山動物園では、冬になると繁殖への期待がたかまります。いつか、イワンとルルの赤ちゃんが見られる日がくるまで、あたたかく見守っていただきますね。

2頭のホッキョクグマの成熟で、旭山動物園では、冬になると繁殖への期待がたかまります。いつか、イワンとルルの赤ちゃんが見られる日がくるまで、あたたかく見守っていただきますね。

ルルも担当飼育係も初めて臨む出産です。そのため、ルルの出産の兆しは手探りの状態です。ルルの食欲の増減や体の変化、どんな小さな変化も見逃せません。

野生のホッキョクグマが巣穴から子どもをつれて外に出てくるのは、暖かくなる春頃。もし、この冬にルルが出産すると、子育てのために春までここですごします。そうでなければ、ルルは1月頃にはイワンと一緒に放飼場へ戻ります。野生でも子どもを産まないメスのホッキョクグマは巣穴にこもることはありません。

旭山動物園のホッキョクグマは、初代シロウ・ユキペアの5頭の子どもたち以来27年間、生育に成功していません。2006年まで、日本国内で生まれたホッキョクグマは152頭いますが、生育できたのはたった19頭です。ホッキョクグマの繁殖では、ペアの形成や出産のための環境づくりが難しいといわれています。

1974年
うまれのコロ第2牧場に
ヤギ2頭仲間入り

さくらこ(メ)と
じゃじゃ丸(オ)で
す。その名のとおり、
じゃじゃ丸は
元気いっぱいや
んちゃざかり

毎週日曜日13:30~
ワンポイントガイド

これからは冬も開催。毎週日曜日13:30~
飼育展示係が動物舎前でガイドを行います

注目 もぐもぐタイム



この冬は不定期のもぐもぐ
タイムが充実。トラやワピ
チ・オオカミなど新たにもぐ
もぐタイムが登場。時間など
くわしくは動物園の掲示板
で確認してみてくださいね。

冬限定のフクロウを学ぶ会もはじまりました

ペンギンの散歩は雪がしっかり降り積もる12月中旬(予定)ころから